

副専攻名 歴史学[基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

日本史学、東洋史学、西洋史学、の3専門分野が開講している授業科目(概説や特殊講義)を履修しながら、日本、アジア、ヨーロッパの歴史を広く学び、グローバル化の時代にふさわしい教養を身につける。

副専攻の学習成果

- ・日本、アジア、ヨーロッパの歴史についての基礎知識を獲得する。
- ・日本、アジア、ヨーロッパの歴史についての研究方法を理解する。
- ・歴史的な視点、グローバルな視点に関心を持つようになる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
11015	日本古代中世史概説A	古代の史書について理解を深め、それ自体が歴史的所産であることを認識する。	1		
11016	日本古代中世史概説B	顕密仏教の特質を理解し、それが中世後期において変化してゆく実態に迫る。	1		
11017	日本近世近代史概説A	<ul style="list-style-type: none"> ・日本近世社会に関する基礎知識を学ぶ。 ・近世研究の理論を学ぶ。 ・歴史認識を鍛える。 	1		
11018	日本近世近代史概説B	金沢の近現代史に関する理解を深める。	1		
11052	中国史概説	<ul style="list-style-type: none"> ・東洋史、なかでも中国史の基本的なことからについて理解を深める。 ・古代中国の政治や社会の特徴を歴史的に捉え、その中国史全体のなかでの意味を考察することができるようになる。 	2~4		
11021	東アジア史概説A	<ul style="list-style-type: none"> ・中国史、並びに東アジア史を学ぶために最低限必要な知識の獲得を目指す。 ・中国史の時代区分についての基本的な知識を獲得する。 ・歴史的変動が持つ中国史・東アジア史全体の中での意味について学ぶ。 ・中国史・東アジア史の基本的な用語についての知識を獲得する。 	2~4		
11022	東アジア史概説B	<ul style="list-style-type: none"> ・中国史、並びに東アジア史を理解するための基本的な知識を会得する。 ・東アジアの特質を歴史的に理解できるようになる。 ・中国における歴史的な事象を、東アジア史という枠組みのなかで捉えられるようになることを目指す。 	2~4		
11023	地中海世界史概説	古代・中世における地中海沿岸世界の発展の全体像を把握する。	1~3		
11024	西洋中世史概説	ヨーロッパ中世史の全体像および個々の重要な事柄とその基層をなす骨組みについて理解を深めること、また歴史を研究する上での基本的な方法について学びとることが、学習目標となる。	1~3		
11025	西洋近代史概説	<ul style="list-style-type: none"> ・西洋近代世界の成立と発展を理解する。 ・西洋近代の現代的意味を理解する。 	1~3		

副専攻名 歴史学[基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

日本史学、東洋史学、西洋史学、の3専門分野が開講している授業科目(概説や特殊講義)を履修しながら、日本、アジア、ヨーロッパの歴史を広く学び、グローバル化の時代にふさわしい教養を身につける。

副専攻の学習成果

- ・日本、アジア、ヨーロッパの歴史についての基礎知識を獲得する。
- ・日本、アジア、ヨーロッパの歴史についての研究方法を理解する。
- ・歴史的な視点、グローバルな視点に関心を持つようになる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
41501	日本古代史特殊講義	古代の官職制度の変遷と、その歴史的背景について理解を深める。	2～4		
41502	平安時代史特殊講義	皇位継承儀礼の変化と、その歴史的背景について理解を深める。	2～4		
41503	日本中世地域史特殊講義	守護大名大内氏に関し、幕府や朝鮮・明との関係を理解する。	2～4		
41504	日本中世寺院史特殊講義	中世における宗教と社会の関係及び聖地の役割を理解する。	2～4		
41539	日本近世政治史特殊講義	・日本近世国家について多様な視角から理解を深める。 ・近世史研究の到達点と課題を理解する。	2～4		
41540	日本近世社会史特殊講義	・日本近世社会について多様な視角から理解を深める。 ・近世史研究の到達点と課題を理解する。	2～4		
41507	日本近代都市史特殊講義	・日本の近代都市史に関する理解を深めること。 ・史料の読解能力を身につけること。	2～4		
41508	日本現代都市史特殊講義	・日本の現代都市史に関する理解を深めること。 ・史料の読解能力を身につけること。	2～4		
41509	日本古代中世史特殊講義A	古代・中世の国家と社会について理解する。	2～4		
41510	日本古代中世史特殊講義B	古代・中世の文化について理解する。	2～4		
41511	日本近世近代史特殊講義A	近世・近代の国家と社会について理解する。	2～4		
41512	日本近世近代史特殊講義B	近世・近代の文化について理解する。	2～4		
41602	中国秦漢時代史特殊講義	・当該時代の政治史・制度史上の論点について、基本的なことがらを理解する。 ・研究史整理について、基礎的な手法を理解し、身に付ける。 ・史料批判について、基礎的な手法を理解し、身に付ける。	2～4		
41603	中国唐宋時代史特殊講義	・当該時代の歴史についての基本的な知識を理解する。 ・東アジアにおける歴史認識問題について基本的な事項を理解する。 ・当該時代を対象とする歴史研究の特色や問題点を理解し、歴史研究の方法について考えられるようになる。	2～4		

副専攻名 歴史学[基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

日本史学、東洋史学、西洋史学、の3専門分野が開講している授業科目(概説や特殊講義)を履修しながら、日本、アジア、ヨーロッパの歴史を広く学び、グローバル化の時代にふさわしい教養を身につける。

副専攻の学習成果

- ・日本、アジア、ヨーロッパの歴史についての基礎知識を獲得する。
- ・日本、アジア、ヨーロッパの歴史についての研究方法を理解する。
- ・歴史的な視点、グローバルな視点に関心を持つようになる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
41604	中国明清時代史特殊講義	・当該時代の歴史についての基本的な事項を理解する。 ・研究史整理の方法を理解し、会得する。 ・研究を進める上で必要となる視点や方法を身につける。	2～4		
41606	東アジア政治制度史特殊講義	・主として中国古代における、政治史・制度史上の論点について、基本的なことがらを理解する。 ・研究史整理について、基礎的な手法を理解し、身に付ける。 ・史料批判について、基礎的な手法を理解し、身に付ける。	2～4		
41607	東アジア社会経済史特殊講義	・明清時代を中心とした、東アジアにおける社会経済の状況を理解する。 ・東アジアの社会経済史に関する基本的知識を会得する。 ・研究を進める上で必要となる視点や方法を身につける。	2～4		
41608	中国史研究の現在	・中国史に関する研究における基本的、かつ最新の研究状況を把握する。 ・研究を進める上で必要となる視点や方法を身につける。	2～4		
41609	東アジア史研究の現在	・東アジア史に関する研究における基本的、かつ最新の研究状況を把握する。 ・研究を進める上で必要となる視点や方法を身につける。	2～4		
41610	東洋史学の現在	・東洋史学の諸問題について理解し、その基本的、かつ最新の研究状況を把握する。 ・研究を進める上で必要となる視点や方法を身につける。	2～4		
41701	地中海世界政治史特殊講義	古代・中世における地中海世界、とりわけビザンツ帝国周辺地域の政治過程上の問題を具体的に考察し、そのメカニズムを理解する。	2～4		
41702	地中海世界社会史特殊講義	古代・中世における地中海世界、とりわけビザンツ帝国周辺地域の社会史上の問題を具体的に考察し、そのメカニズムを理解する。	2～4		
41703	地中海世界国際関係史特殊講義	古代・中世における地中海世界、とりわけビザンツ帝国周辺地域の国際関係上の問題を具体的に考察し、そのメカニズムを理解する。	2～4		

副専攻名 歴史学[基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

日本史学、東洋史学、西洋史学、の3専門分野が開講している授業科目(概説や特殊講義)を履修しながら、日本、アジア、ヨーロッパの歴史を広く学び、グローバル化の時代にふさわしい教養を身につける。

副専攻の学習成果

- ・日本、アジア、ヨーロッパの歴史についての基礎知識を獲得する。
- ・日本、アジア、ヨーロッパの歴史についての研究方法を理解する。
- ・歴史的な視点、グローバルな視点に関心を持つようになる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
41704	西洋中世都市史特殊講義	ヨーロッパ中世史の全体像および個々の重要な事柄とその基層をなす骨組みについて理解を深めること、また歴史を研究する上での基本的な方法について学びとることが、学習目標となる。	2～4		
41705	西洋中世国制史特殊講義	さしあたり以下の4点が目標。1)スイスはヨーロッパのどこに位置し、どのような地理的・言語的環境の下にあるのか。2)スイスはドイツ、フランス、イタリアなどの諸国家とどこがどのように違っているのか。3)スイスという国の領域的な枠組みが固まるプロセスにおいて、都市や村落はどのような役割を果たしたのか。4)ハプスブルク家はスイスとどのような関係にあったのか。	2～4		
41706	西洋中世社会史特殊講義	1)ヨーロッパの中世後期は歴史全体のなかでどのように位置づけられてきたのか、またどのように位置づけるべきなのか。2)社会史にはどのようにアクセスしていけばよいのか。3)社会史の問題を考える際に中世のドイツやスイスはどのような個性を持っているのか。4)とりわけスイス中世史の概説的理解はどのように塗り替えられるべきなのか。	2～4		
41707	西洋近代国際関係史特殊講義	近代における西洋と非西洋との関係を理解する。	2～4		
41708	西洋近代政治文化史特殊講義	万国博覧会研究、近代イギリス史研究、近代ヨーロッパ史研究の最新の研究動向を学び、理解する。	2～4		
41709	西洋近代文化表象史特殊講義	世紀末から世紀初頭のイギリス社会には様々な不安が表出していた。アメリカ、ドイツの台頭による経済大国としての地位の揺らぎ、南ア戦争泥沼化などによる帝国の不安などなど。そうした不安は「逆植民地化」reverse colonizationの恐怖さえ引き起こしていた。この時代の文学作品にはそうした不安が色濃く影を落としていた。こうした作品に見られる、この時代の不安の文化的表象を理解する。	2～4		
41713	西洋古代・中世史特殊講義A	西洋古代・中世史の最新の研究成果を学び、この時代の歴史について方法論を学ぶ。	2～4		
41714	西洋古代・中世史特殊講義B	西洋古代・中世史の、Aで取り上げられた以外の分野に関し、最新の研究成果を学び、この時代の歴史について方法論を学ぶ。	2～4		

副専攻名 歴史学[基礎]**副専攻のCP(カリキュラム編成方針)**

日本史学、東洋史学、西洋史学、の3専門分野が開講している授業科目(概説や特殊講義)を履修しながら、日本、アジア、ヨーロッパの歴史を広く学び、グローバル化の時代にふさわしい教養を身につける。

副専攻の学習成果

- ・日本、アジア、ヨーロッパの歴史についての基礎知識を獲得する。
- ・日本、アジア、ヨーロッパの歴史についての研究方法を理解する。
- ・歴史的な視点、グローバルな視点に関心を持つようになる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
41715	西洋近・現代史特殊講義A	西洋近・現代史の特定の分野に関し、最新の研究成果を学び、この時代の歴史について方法論を学ぶ。	2~4		
41716	西洋近・現代史特殊講義B	西洋近・現代史の、Aで取り上げられた以外の分野に関し、最新の研究成果を学び、この時代の歴史について方法論を学ぶ。	2~4		